

地域環境の保全・向上を目指して

(組織名) 中分地域環境保全会 (市町村) 上尾市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
14.53ha	1.24ha	5.7km	0km	km	0箇所	km

2 活動組織の構成員

農業者 : 48 人

非農業者 : 1 人

3 地域の様子と取組内容

中分地域環境保全会は、多面的機能支払交付金の活動を通して、農業用水路の泥上げや草刈り等の活動に取り組んでいます。人力での作業が難しい箇所は、重機を借りて作業を行っています。

また、耕作放棄地を生じさせないため、休耕田などの雑草除去を実施し、景観の維持や不法投棄の防止に努めています。

また、景観形成活動としてコスモスを栽培し、「花広場」として地域住民が自由に鑑賞できる場を提供しています。



用水路の泥上げ



草刈作業



重機による草刈り



コスモスが咲き誇る「花広場」

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 用水路点検 ・ 遊休農地点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度活動計画の策定 ・ 景観形成計画、生活環境保全計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用水路の泥上げ、草刈作業 ・ 景観形成のコスモス栽培

5 取組の効果及び今後の展望等

用水路泥上げ作業や草刈作業などの共同作業をすることにより、会員相互の理解が高まり、環境に対する考えが、変わらず維持できています。

また、コスモスの咲き誇る「花広場」は、地域住民から好評の声が上がっています。

会員の高齢化が進む中、今後も共同で作業することにより、個人の負担軽減を図っていきます。

農業を育み、農地を守るふるさとづくり

(組織名) 高倉ふるさとづくりの会 (市町村) 鶴ヶ島市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
— ha	13.85ha	0.6km	— km	— km	— 箇所	2.0km

2 活動組織の構成員

- 農業者 19人
- 非農業者 26人
- 主な構成団体 高倉上自治会、高倉下自治会

3 地域の様子と取組内容

高倉地区は、鶴ヶ島市の南西部に位置し、池尻池、飯盛川などの水辺、農地、屋敷林などの豊かな自然に恵まれた農村地域です。

当地区も農業従事者の高齢化や後継者不足が進み、作付けされていない農地や手入れが行き届かない山林が増えてきたため、農家、非農家問わず、地区住民が一体となって環境向上対策に取り組んでいます。

主な取組としては、農地維持の保全活動としては、農道の法面や水路の草刈・泥上げを行っています。また、農村環境保全活動としては、約0.7haの農地に、季節ごとに菜の花、ひまわりを植栽し、景観形成に努めています。4月中旬には、地区内の農業交流センターを中心に「菜の花まつり」を開催しています。

また、施設の長寿命化では、地区内水路の護岸が近年の大雨により浸食が進んでいるため、令和3年度から木材を使用した土留め工法により、景観を考慮した水路の保全にも努めています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農用地・水路・農道の点検	活動計画の策定 農村環境保全活動	水路の草刈り、泥上げ 農道法面の草刈り 農道、水路等の維持補修



水路の草刈り（ボランティアの参加）



水路のり面草刈り



水路補修（長寿命化）



景観形成（菜の花畑・こいのぼり）

5 取組の効果及び今後の展望等

本事業をきっかけとして始めた水路、農道の草刈り、ゴミ拾いなどの活動に非農業者、環境ボランティアの参加が増え、地域と団体などが連携し農地を守っていく意識が高まってきています。

また、令和3年度から始めた資源向上支払（長寿命化）の木材を使用した土留め工法により、地区内の美観を保ったままの水路補修が進んでいます。

今後も地域の住民が主体的に取り組み、農村環境を守り育てる活動が継続的・効果的に実施されるよう、ボランティアの参加を呼びかけ、農村環境保全活動に対する意識の共有を図り、活動区域の拡大、地域の活性化に繋げていきたいと考えています。

地域ぐるみの農地保全

(組織名) 大豆戸地区農地・水保全管理活動組織 (市町村) 鳩山町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
19.99ha	11.62ha	12.0km	km	km	7箇所	km

2 活動組織の構成員

- ・大豆戸農業振興組合
- ・大豆戸新沼水利組合
- ・大豆戸大沼水利組合
- ・大豆戸大豆生産組合
- ・自治会（大字大豆戸）
- ・その他の団体（長明会）

構成員数：38名（うち非農業者5名）

3 地域の様子と取組内容

本地域は、農地を有効に活用するため、土地基盤整備を積極的に導入し、ブロックローテーションを中心とした水稻・小麦・大豆栽培で水田の高度利用に取り組んでいる。今後とも農業振興を図るためには、農用地、農業用施設を適切に保全管理することが必要であることから、継続して事業に取り組んでいる。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
作業場所の点検と確認 保険加入のため、活動参加 可能者の事前把握	年度計画の作成 回覧等による周知	活動参加者、及び活動内容 の確認と正確な報酬支払

5 取組の効果及び今後の展望等

資源向上共同活動として、老人会等と協働で、地区内の農地や花壇を活用した花の植栽を実施し、良好な景観を形成している。

長寿命化の取り組みとしては、コンクリート敷打ちなど水路の更新に計画的に取り組んでいるほか、直営による水路の軽微な補修及び草刈り、泥上げ等の日常的な農業用施設の維持管理を実施している。また、令和4年度に発生した豪雨災害の際には、地区内の水路等の復旧を直営で行うなど、地域の安全な農村環境づくりに貢献している。

これらの活動は、農業者や老人会などが協働で活動を行うことで地域コミュニティの強化が図られており、地域内の農村環境保全意識の醸成に繋がっていることから、今後も引き続き地域の共同活動を継続していきたい。

獣害から農地を守って農地維持

(組織名) 芦ヶ久保環境を守る会 (市町村) 横瀬町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	農道	獣害対策ネット
ha	15.89ha	km	km	km	0.8km	4.0km

2 活動組織の構成員

- ・ 農業者個人47人、アスガキボウ委員会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、西武鉄道の延伸に伴い、昭和40年代からプラムやブドウをはじめとする果樹栽培が盛んとなり、観光農園として賑わいを見せた。しかし、高齢化と後継者の不足や、獣害被害の問題から、農園数は減少の一途を辿っていた。従来から中山間直接支払制度や緊急雇用対策を活用し、農地維持や広域獣害対策ネットの設置を行ってきたが、今後更なる地域資源及び農村環境の保存並びに施設の長寿命化を目指し、令和2年度より多面的機能支払制度の活動を開始した。

活動内容としては、構成員で農地、農道、獣害対策ネットの点検を行い、活動計画を作成。その後、作成した計画に基づき、農道周辺の草刈り、広域獣害対策ネットの保守管理や点検、新設や更新を実施し、農地維持や地域資源の向上を目指している。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・ 施設の点検・機能診断	・ 年度活動計画の策定	・ 農道の草刈り ・ 獣害対策ネットの点検、補修、新設、更新



農道の草刈り



獣害対策ネット



5 取組の効果及び今後の展望等

地域住民の高齢化や人口減少による、地域の農地や農道、広域獣害対策ネットの維持管理機能の低下や、獣害による農村環境の悪化が懸念されるなか、農業者を中心とした維持管理体制を構築することで、獣害被害の抑制や農地維持だけでなく、地域全体での農村環境への保全活動の意識も高まった。

地域で取り組む農村環境保全

(組織名) 大御堂農地環境保全会 (市町村) 上里町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
14.75ha	9.09ha	10.1km	6.2km	3.9km	- 箇所	11.2km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 108人 (農業者77人・非農業者31人)
- 主な構成団体 上里土地改良区、用排水施設管理組合、自治会、PTA等

3 地域の様子と取組内容

当地域は、上里町の南西部に位置し、平成2～3年度に土地改良事業が行われた平坦な田畑地域です。土地改良事業の完了から30年以上が経過し、農業者の高齢化などにより、農村地域における資源の保全管理が課題となっていました。このため、農地・農業用水利施設の保全管理活動を行う目的で、用排水施設等管理組合などの地域管理団体を母体として当組織が発足いたしました。

主な活動は農地の保全管理を目的とした草刈りや清掃、水路の浚渫です。

また、人力では作業困難な箇所は、業者発注を実施するなど、工夫して活動を行っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検	年度活動計画の策定	施設の浚渫・草刈り・維持管理



排水路の泥上げ作業



排水路の泥上げ作業



植栽植え付け作業



防草シート敷設状況

5 取組の効果及び今後の展望等

農地維持活動に継続して取り組むことで、地域の営農環境や排水機能が向上し、地域住民の環境保全に対する意識が向上しました。

活動を通じて、人と人との繋がりができ、より強固な地域コミュニティが形成されました。

草刈管理作業では、高齢化や人手不足により、参加者の負担増が懸念されましたが、防草シート敷設や危険な箇所の浚渫を民間業者に委託するなど工夫し、参加者の負担軽減を図り、取り組みを継続させることが実現できています。

今後も農用地及び水路等の適正な維持管理や、植栽活動等の農村環境保全活動を行うことにより、緑豊かな農村環境づくりにつなげていきたいと考えています。

次世代につなげる地域の交流と環境

(組織名) 針ヶ谷環境保全組合 (市町村) 深谷市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
13.48ha	64.90ha	17.1km	km	km	箇所	0.6km

2 活動組織の構成員

針ヶ谷自治会、荒川中部土地改良区、針ヶ谷用排水維持管理組合

3 地域の様子と取組内容

当地域は、深谷市西部の岡部・針ヶ谷地区に位置し、荒川中部土地改良区の受益地であり、畑を中心とした耕作を行っています。

本事業では、地域住民と一緒に農用地法面、水路の草刈りや泥上げ、施設の定期的な巡回清掃、補修等を行い、農業者のみならず地域一体となり、保全活動を行っています。また、平成30年度から資源向上（長寿命化）を追加し、既設水路の更新や素掘り水路からコンクリート水路への更新を荒川中部土地改良区の支援を受けながら実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検、機能診断	年度活動計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の草刈り、泥上げ ・施設の定期的な巡回、点検、清掃 ・施設の補修、更新



水路の草刈り



水路の泥上げ



水路の残土処理作業



清掃活動

5 取組の効果及び今後の展望等

本事業を通して、住民同士の交流がより活発になり、地域一体となって地域環境の保全管理を行うことができています。特に地域内の子供会に協力してもらい水路周辺の清掃活動を実施することで、子供の頃から地域を大切にすることを育てようとしています。また地域内に存する農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全並びに水路等の施設の長寿命化を図ることで地域資源を守ることができています。今後も地域一体となって地域環境の保全管理を行うことで住民同士の交流がより活発になり、地域を大切にしようとするところを育てていくことを目指しています。

小さいながらも『元気に活動中』

(組織名) あぜ道守る会 (市町村) 行田市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
16.0ha	5.3ha	4.23km	0km	0km	0箇所	4.231km

2 活動組織の構成員

◎構成団体

藤間自治会・藤間農家組合・藤間道路河川愛護会

◎構成人数

27世帯 29人 (うち農業者 4人)

3 地域の様子と取組内容

◎地域の様子

- ・当地区は、行田市の東部に位置し、水稻中心の小さな集落である。
- ・農業従事者が少なく、農地を貸している農家が多い。
- ・農地内の農道(市道)が通学路に指定されており、伸び放題の草の刈り取り要望が多数寄せられ、これを解決するために農家と非農家が参加する「あぜ道守る会」が発足した。

◎取り組み内容

- ・現在は地区内農家と非農家が協働して、農道・水路敷内の除草や清掃活動等を通して、遊休農地の発生を抑えながら環境保全活動に取り組んでいる。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農地の点検 施設の点検と機能診断	年度活動計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・畦畔や法面の除草・清掃 ・水路敷の草刈り清掃・泥上げ ・農地利用の推進を図るための話し合い ・水路の補修

〈草刈り〉



〈清掃活動〉



〈集合ミーティング〉



5 取組の効果及び今後の展望等

「あぜ道守る会」では、地区内農家と非農家が協働し、農道・水路敷内の除草や清掃活動を通し耕作放棄地の無い農村風景の保持に努めている。このような活動を周知することにより、地域の農業者や住民、地区外の借り入れ農家の方々の理解・協力を得ることでさらなる環境保全に力を注ぎ、より良い農村環境を作っていきたいと考えている。

さらに、隣接する小針地区の農業者に声掛けをし、当活動への協力連携を呼びかける取り組みを行うことにより、環境保全の地域拡大を目標としている。

地域で農地を保全する農地維持活動

(組織名) 沖の山地区水田管理組合 (市町村) 宮代町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
10.89ha	1.43ha	6.6km	— km	— km	— 箇所	— km

2 活動組織の構成員

構成員の人数 38 名 (農業者 38 名、非農業者 0 名)

3 地域の様子と取組内容

本地域は、宮代町の北西部に位置し、地域の南側を流れる備前前堀川にある万年堰を操作し取水を行っております。昭和 49 年に土地改良事業を実施しており、現在も優良な田園地帯です。近年は圏央道の開通に伴い、周辺の開発が進んできていますが、地域集落の農地や水路の保全に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・水路パトロール	・年度活動計画 ・刈払機安全講習会	・水路の草刈、泥上げ ・雑木伐採



水路草刈



草刈機安全講習会



機械草刈



雑木伐採

5 取組の効果及び今後の展望等

当組合の活動は5年目となり、来年度以降も活動を継続していきます。当組合では、例年6月、7月、10月、12月の年4回草刈を行い、2月に水路の泥上げを行うなど、こまめな維持管理活動を行っています。また、通年に渡り水路の不具合箇所がないかパトロールを行っており、水路不具合の早期発見に繋がっています。

今後についても草刈りや泥上げ等の維持管理活動を継続して行っていくとともに、多面的機能支援事業について、知識や経験を継承できるよう後進の育成にも力を入れていきます。